

地域でのイベントの様子

各子ども会・自治会の活動の様子です。



鹿骨1丁目子ども会

キッズフリーマーケット 1/21 (日)



震災訓練 12/3 (日)



興宮自治会

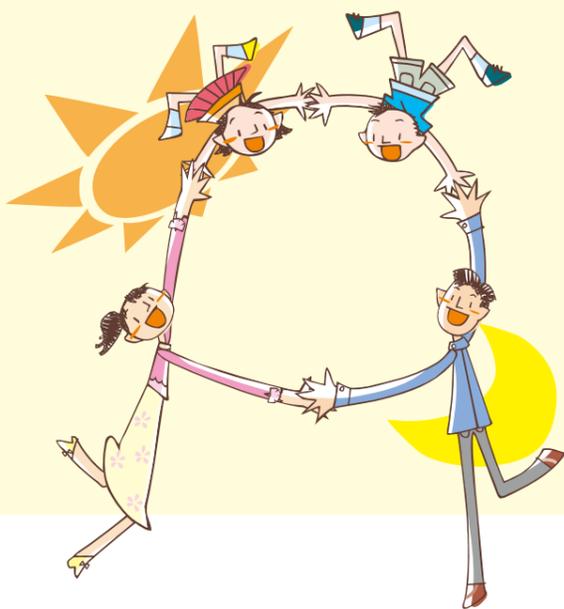
芋煮会とやさい大売出し 12/10 (日)



西篠崎子ども会



秋の一斉美化運動 11/19 (日)



第45回鹿骨地区スポーツ連盟合同開会式

4月7日(日) 実施予定

青少年育成鹿本地区委員会

SH鹿AM本

Vol.90

編集・発行 ● 青少年育成 / 鹿本地区委員会 / 江戸川区鹿骨 1-54-2 (江戸川区鹿骨事務所内) / ☎ 03 (3678) 6113

のぞいてみよう 身近な水中☆ミクロの世界!



- もっと生きものの種類を知りたいと思った
- 小さい生きものを大きく見れてうれしかった
- 顕微鏡で見ると、こんなによく見えるんだと驚いた
- 難しかったけど、いろいろな生きものを見れてよかった
- 顕微鏡を覗いたのがおもしろかった
- 顕微鏡で見ると、こんなによく見えるんだと驚いた
- プラナリアを見たときびっくりした



12月9日(土)に鹿本地区委員会健全育成部主催の「のぞいてみよう身近な水中☆ミクロの世界」を子ども未来館で開催しました。たき火の科学の代わりに、観察しながら体験できるものとして第一回目を開催しました。低学年の子は親子での参加、21名の子ともと保護者で50名程集まりました。村山委員長、唐澤子ども未来館館長挨拶の後、高木先生、本田先生指導のもと顕微鏡の正しい使い方を教わりました。

「旧中川」「鹿骨親水緑道」「学校のプール」「海」4種類の水を最初は肉眼で見て、20倍の顕微鏡でのぞいて、その後600倍までの本格的な顕微鏡で観察しました。生物の生態系、生き物の連鎖を学ぶ過程でまずは見て「ワー」と感動して体感する事が一番大事だと話をされていました。これからも子どもたちと体感できる活動を続けていきたいと思います。

江戸川区ホームページにも掲載をはじめました。右のQRコードからページに移ります。



第47回鹿骨区民館まつり 5月19日(日) 実施予定

令和5年度
環境をよくする運動
絵画コンクール

11月は環境をよくする運動強調月間です。未だ町中には、たばこ、ペットボトルのポイ捨て等がいつもあります。今年も鹿骨管内の小・中学校の皆さんに「美しい町づくりの環境にする為の絵画を」と呼びかけて応募をお願いしました。

応募総数1210名 審査を行ない
区長賞47名 協議会長賞74名が入選されました。

空気を汚染し、温暖化のもとになるCO₂の削減、海へのゴミの流出、SDGsの食物や水の無駄づかい等々、皆さんの絵の中にはよく描かれていました。



入選された絵画は町会・自治会に配布され、ポスターとして掲示されます。皆さんに見ていただき、よりいっそう美しい町になるよう実践していければと思います。

区長賞や協議会長賞は江戸川区のホームページに掲載しておりますので是非ご覧ください。



鹿骨地区「安全・安心まちづくり運動」

12月2日(土)青少年育成京葉・鹿本地区委員会主催の「安全・安心まちづくり運動」が実施されました。防犯意識の向上の為の啓発活動として「自転車盗防止・特殊詐欺防止」の2つを重点テーマに、中学生が中心となり「安全・安心まちづくり隊」を結成し、篠崎第四小学校に集合しました。鹿骨中学校・篠崎中学校・篠崎第二中学校の中学生及び各学校・地区委員・町会・自治会の大人も多数参加して篠崎駅周辺で啓発活動を実施しました。

中学生・大人を3班に分けて、斉藤江戸川区長、堂菌小岩警察署長の挨拶の後、「自転車盗防止」「特殊詐欺防止」に関する標語が書かれたタスキを肩にかけ、中学生を先頭にのぼり旗を持ち篠崎駅へ行進しました。駅周辺で「自転車盗防止」「特殊詐欺防止」の防犯啓発用ティッシュをバス停で待っている人、バスから降りてくる人、駅を利用する歩行中の人に、中学生は元気で大きな声で防犯活動中だと、声かけしながら配りました。

また、駅前では、【自転車盗難、鍵かけて】と、まるで合唱のように連呼して楽しそうに声出しているのが印象的でした。他班も啓発活動以外に駅前地下駐輪場内に駐輪している自転車の無施錠状況を調査しました。今回の調査で約1割弱の無施錠を確認しました。

冒頭の挨拶で小岩警察署長が「自転車盗難の殆どが無施錠です。自転車を止めたらず必ず施錠しましょう。また、高齢者への特殊詐欺防止には留守番電話の設定が有効・電話で金の話は特殊詐欺です」と話されました。



上一色中学校 開校60周年

10月30日に開校60周年記念式典が挙行されました。インフルエンザの影響により、無事に当日を迎えられるか心配でしたが、全学級が式典に参加することができ、整然とした態度で臨む生徒には、ご臨席の皆様からお褒めの言葉をいただきました。

式辞の中では、本校が地域社会と一体となり、未来のリーダーや社会貢献者を育む場であることを誇りに思い、生徒達の可能性を引き出し、夢を追い求める場であり続けることを約束しました。

さらに生徒には、新たな十年の礎を築くべく、一人一人が常に周りを思いやり、安心できる学校生活の中で、伝統を引き継ぐと同時に、新たなチャレンジをするという気概を持つことを求めました。

また、2年生が担当した第2部のアトラクションや3年生が担当した展示には、地域の皆様から「懐かしい」「昔を思い出した」などのお声をいただきました。あらためて、地域に見守られ、育てられてきた学校であることを再認識できました。



上一色南小学校 開校50周年

本校は今年度開校50周年を迎えました。

50周年を迎えるにあたり意識したことは、「子どもたちと創り上げる50周年」ということでした。昨年度から代表委員会の児童を中心に様々な企画を考えました。

50周年キャラクターの募集、横断幕の言葉募集、ウォールアートのデザイン募集、アンケート「50周年でやりたいこと」の実施等、多くの取組を行ってきました。

子どもたちの発想は本当に柔軟で可能性に満

ち溢れています。次々と素晴らしいアイデアや意見が集まりました。そして誕生したのが、50周年キャラクター「かみにゃん」であり、本校プール壁面に描かれたウォールアートなのです。

常に明るく前向きで、困難なことにもあきらめることなく取り組む子どもたちの姿は、この50年変わることがないものであり、これこそが今まで受け継がれてきた上一色南小学校の素晴らしい伝統なのです。



ウォールアート



50周年キャラクター「かみにゃん」